

第 10 回 土壌化学・生成分類リトリートのお知らせ

昨年に引き続き、「第 10 回土壌化学・生成分類リトリート」を開催いたします。今年は日本大学・生物資源科学部にて開催される日本土壌肥料学会の前日、8 月 28 日(火)に行います。

リトリート(retreat)とは、避難や隠れ家といった意味があり、海外では普段と違った企画で懇親を深めたり情報交換したりする会合の意味で使われています。土壌肥料学会は、学部学生から著名な先生方まで多くの参加者が集まる規模の大きな学会となっていますが、同じ興味を持った人たちが集まって親睦を深める機会はそれほど多くありません。本会では、土壌化学・生成分類に興味をもつ方々を中心に、普段の学会発表では絶対に聞けないような話題などを講演していただきながら、懇親を深めることを目的として開催いたします。

- 日時：2018 年 8 月 28 日(火)、15:30-18:30
- 会場：日本大学 生物資源科学部 本館 4 階 43 講義室
- 講演：16:00 開始
タイトル:極域に生成する土壌とその研究展開
 1. ツンドラ土壌と生物の関わり:北極, 南極, そして・・・
演者:林 健太郎(農研機構)
内容:ツンドラにも土壌があります。その生成や変遷には微生物, 植物, および動物たちのはたらきが濃密に関与しています。講演では, 北極スバルバルと南極における調査からわかってきたこと, そして, 今後の研究展開への期待をお話いたします。
 2. 3つの極地で足下を見てみたら・・・
演者:藤嶽暢英(神戸大農)
内容:南極, 北極, チベット高原は世界の3極地と呼ばれる特殊環境です。そうした中で成立する土壌はもちろん未熟ですが, 土壌学の視点から見ても興味深い点がいくつかあります。これらの地を訪れた経験を紹介し, そこでこそこそできる研究課題などを語り合いながら, 極地における土壌学研究の必要性についてお話いたします。
- フリートーク：講演者募集中
- 会費：なし

フリートークでは、今回の講演内容に関わらず、土壌研究への提言、学生・若手の主張、また最近の興味深い研究の紹介や今回の学会発表内容の宣伝など、この機会にお話しただけの方を募集いたします。上記の内容を 5 分程度でお話し頂ける方は、事前にご連絡をお願いします。なお、リトリート終了後、会場近くの居酒屋で懇親会を開催する予定です。

リトリートに参加を希望される方は、準備等の都合上、以下の内容を含めて 8 月 21 日(月)までに橋本洋平(yhashim@cc.tuat.ac.jp)宛にご連絡ください。

- 御氏名：
- 御所属：
- 電子メールアドレス：
- フリートークでの話題提供：あり ・ なし
- 懇親会：参加 ・ 不参加

みなさまのご参加をお待ちしております。

リトリート企画チーム
藤井一至(森林総合研究所)・瀧山律子(農林水産省)
橋本洋平(東京農工大学)・平舘俊太郎(九州大学)